

JASMA 会報

2026年4月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

1. 第184回理事会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催・・・・・・2
3. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール経済産業大臣賞受賞作品紹介・3
4. 第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始・・・・・・4
5. ASM OSAKA出展 JASMAブース広報活動・・・・・・・・・・・・5

1. 第184回理事会開催

2026年3月25日（水）、13時30分より東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）において、当工業会の第184回理事会を開催しました。出席者は理事総数12名に対し8名（会場出席5名、オンライン出席3名）と過半数になり、理事会は成立しすべての議案を審議し承認可決しました。ご来賓として経済産業省製造産業局 産業機械課 課長補佐 瀬野 容章 殿にご臨席いただき、議事終了後に「最近の政策動向」を中心にご説明をいただきました。

議題は以下のとおりです。

議題1. 専務理事について

議題2. 2025年度事業報告（一部見込み）について
今後の主要な行事等は以下のとおりです。

議題3. 2025年度収支見込みについて

議題4. 2026年度事業計画（案）について

議題5. 2026年度収支予算（案）について

議題6. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業について（報告）及び第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業について

議題7. **JIAM 2028 OSAKA** について

議題8. 若手社員向け研修について

議題9. 今後の会議・行事スケジュールについて 他

会議・行事名等	日程・場所	議題 他
第185回理事会（書面審議）	2026年5月	①2025年度事業報告、決算報告について ②2026年度事業計画（案）、収支予算（案）について ③第57回定時総会の開催 他
正副会長会議 12:00～14:20	2026年6月11日（木） 日本工業倶楽部	第57回定時総会の審議・報告事項について
第57回定時総会 14:30～16:00		①2025年度事業報告、決算報告について ②2026年度事業計画（案）、収支予算（案）について
第186回理事会 16:10～16:30		①専務理事の選定について
第57回定時総会後懇親会 17:00～18:30		定時総会後の懇親会
正副会長会議 12:45～14:15	2026年10月16日（金） ホテルグランヴィア大阪	第187回理事会の審議・報告事項について 他
第187回理事会 14:30～16:00		①2026年度上期の事業概要について ②2026年度下期の事業について 他

正副会長会議 11:30～13:00	2027年1月21日(木) 日本工業倶楽部	①2026年度予算執行状況について ②2027年度予算について ③第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて 他
2027年新年賀詞交歓会 13:30～15:00		新年賀詞交歓会

※変更する場合があります。

2. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催

2026年3月25日(水)、東京国際フォーラム(東京都千代田丸の内)において、第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの表彰式が、受賞者、ご家族、学校関係者、来賓、審査委員、報道関係者、当工業会関係者等約90名の出席のもと晴れやかに行われました。

最初に美馬 成望会長から、お祝いの言葉と共に挨拶がありました。「本コンクールは、今回で46回を迎えました。全国の259校から1,782点の作品応募があり、厳正な審査の結果、経済産業大臣賞5点をはじめ、233点が入賞しました。受賞者や先生方から「コンクールの存在が子供たちの製作の励みや自信へ繋がっている。」「貴重な経験の場をありがとう」といったお言葉を頂き主催することの意義を改めて感じています。」と述べられました。続けて「工業会のウェブサイトでは、上手なミシンの選び方やミシンを使った作品作りのレシピ集である「ミシン手作りダイアリー」を公開しています。また、LINEでも情報発信していきますので友だち登録をお願いします。」と説明し、「ミシンを使って世界でただ一つだけの衣服や小物を作ることのでられる感動や仲間との絆を深め、学校や家庭でこれからも大いに楽しんでください。このコンクールによって、縫製機械や繊維業界、アパレル、ファッションへの皆さんの関心が更に高まり、幅広い世界で活躍する若い力となって頂けることを心から願っています。」との言葉で締めくくられました。

続いてご来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 瀬野 容章殿からは、「皆さんは素敵な作品を作られましたが、制作にあたって誰がどんな場所でどう使われるのかなどを考えながら、試行錯誤を重ねて作り上げたと思います。大人たちが仕事として物作りに取り組むことと同じです。我が国を支えている産業基盤そのものを体験されたということです。これからも楽しみながら新しいアイデアを形にすることに挑戦し続けてください。今後皆さんが幅広い分野で活躍して、その挑戦が多くの人喜びや感動に繋がっ

ていくことを期待しています。」と挨拶がありました。

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 田邊 暁子殿から、「皆さんの作品に触発され服や小物をミシンで作りました。久しぶりに自分の時間を作るって大切だなと感じました。物作りだけではないのですが、何かに夢中になって一生懸命になる時間は人生をととても豊かにするというを改めて実感しました。目まぐるしく変化する社会を強くたくましく生き抜いていくためには多様な人々と共存しながら人としての強みを発揮し主体的に社会の形成に参画していく力をしっかり身につけていくことが求められています。そのような中、物作りを通じて得られる充実感や達成感、緻密さへのこだわりや忍耐強さ、仲間との共同により磨かれる協調性や自発性など、いずれもこれから社会で生きていくうえで極めて重要になってくるものと思います。物作りの魅力をご存じの皆さんが情熱と技術を持ってさらに新たな価値を見出し、より良い生活とこれからの未来を作り上げていただくとともに将来のアパレル・ファッション・繊維産業を担うスペシャリストになっていただけたら嬉しく思います。是非これからも物作りを通して自分のアイデアを生かした小物やインテリア作品、衣服などの作品作りに挑戦し、人生をより豊かにし、人と人とのつながりを広げていただきたいと思います。楽しむということを忘れないでください。」とご挨拶頂きました。

経済産業大臣賞は、瀬野課長補佐から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は田邊教科調査官から小学校、中学校、高等学校各1校にホームソーイング振興最優秀校として、賞状・副賞が授与されました。

この他、優秀賞、アイデア賞、SDGs特別賞は美馬会長から、特別賞の全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞は、同連合会の久保木 政道事務局長から、賞状・副賞の授与が行われました。

審査の結果については、審査委員長 櫻井 純子殿から、受賞者へのお祝いに続き、「今年の作品を拝見し

た時に、ミシンに備えられている機能を十分に生かした作品が多かった、ということが第一印象でした。中でも小物・インテリア部門については非常に高度な素晴らしい作品が数多く見られたというのが大きな印象でした。毎年新しい機能が付いたミシンが売り出され、皆さんの生活に入り込んできていると思います。非常に情報が溢れている社会の中で成長している子供たちが、刺激を受けて望みや願いを大きく膨らませ、具体的に叶えることの一つの手段としてミシンが存在してきていると思います。全体として相対的に地味な作品、堅実に作られた作品であったように思います。世の中が不安定で閉塞感もあるような社会であり、子供達の考えや感性などに影響があったかと思います。もう少し若者特有の輝きやエネルギーに溢れるものが感じられる作品が欲しかったというのが審査委員一同の感想でした。受賞されたことで、自信や力を得たことが皆さんの中に大きな変化として大事に育っているだろうと思います。この栄誉は皆さん方がご自身で得たものです。その力や自信をこれからの長い将来にわたって広げて、さらに大きくして行ってほしいと思っています。」と審査総評が語られました。

最後に、受賞者を代表して「高校生の部 衣服作品

部門」で経済産業大臣賞を受賞した飛鳥未来きずな高等学校沖縄キャンパス 宮野 咲希さんから、「この度はこのような栄誉ある賞をいただき大変光栄に思います。今回受賞した作品は、見た目はシンプルですがパーツによって縫製が異なり私がこれまでに培ったミシンの技術を詰め込んだ作品です。直線ミシン、ロックミシン、カバーミシンの3つのミシンの機能を活かした縫製と一つ一つ丁寧に作り上げたところを評価していただいたものと大変嬉しく思っております。私は幼い頃からミシンに触れる機会がありましたが、本格的にソーイングを始めたのは中学2年生の秋でした。それから2年間はいろいろなパターンでたくさんの服を作ってきました。布の裁断やミシンの使い方も知らなかった私を一からご指導して下さった3名の先生方には本当に感謝しています。物作りはとても楽しい一方ですごく難しいと感じることもあります。私はソーイングを通して物事をよく考え根気強く向き合うことを学びました。これからも試行錯誤しながら自分の思い描く作品を作り、またソーイングの奥深さを周りの方にも広めていきたいと思っています。本日は誠にありがとうございました。」とご挨拶がありました。



美馬 成望 会長



瀬野 容章 課長補佐



田邊 暁子 教科調査官



櫻井 純子 審査委員長

3. 第46回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール経済産業大臣賞受賞作品



小学生の部
濱田 柊織さん
ザレソーイングジャム春日部校



中学生の部
小物・インテリア作品部門
伊志嶺 沙弥さん
沖縄カトリック中学校



中学生の部
衣服作品部門
繁内 友花さん
箕面市立第一中学校



高校生の部
小物・インテリア作品部門
宮城 結衣さん
沖縄カトリック高等学校



高校生の部
衣服作品部門
宮野 咲希さん
飛鳥未来きずな高等学校
沖縄キャンパス

4. 第47回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象としたホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは第47回を迎えました。今回も「SDGs特別賞」を設けています。全作品を対象としてSDGsの取り組みが小物を含めた衣生活にいかされた作品を選出します。また、小学生を対象に工業会ホームページにあります「ミシン手作りダイアリー」に載っているレシピを使って作った作品が対象となるミシンダイアリー部門を前回に引き続き設けております。詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

1. 応募部門：

(1)小学生の部（4・5・6年生）

①小学生作品部門（小物・インテリア作品、衣服作品、リメイク・デコ作品、アニメ・ゲームコスチューム作品全てを含む。）

②ミシンダイアリー部門

(2)中学生の部

①小物・インテリア作品部門

②衣服作品部門

③リメイク・デコ作品部門

④アニメ・ゲームコスチューム作品部門

(3)高校生の部

①小物・インテリア作品部門

②衣服作品部門

③リメイク・デコ作品部門

④アニメ・ゲームコスチューム作品部門

2. 応募作品、応募方法等については、当工業会のホームページをご覧ください。

3. 締 切：2026年10月30日（金）

4. 応募先・お問い合わせ先：

一般社団法人日本縫製機械工業会「第47回作品コンクール」係

TEL. 03-6435-8190

FAX. 03-6435-8192

Eメール：info@jasma.or.jp

URL：<https://jasma.or.jp>

5. ASM OSAKA出展 JASMAブース広報活動

2026年3月6日(金)から7日(土)の2日間、インテックス大阪3号館で、第54回ASM OSAKAが開催されました。開場に先立ち行われた開会式には、美馬会長が出席し、祝辞を述べられるとともにテープカットを行いました。

また、JASMAブースを出展し、当工業会事業の紹介、**JIAM 2028** の広報活動を行いました。



編集後記

春とともに新年度がスタートしました。世界では国際情勢の変化が続き、先行きの読みにくさを感じる場面もありますが、スポーツの話題は私たちに前向きな力を届けてくれます。大谷翔平選手の挑戦と記録は、日々の鍛錬とチームワークの大切さを改めて教えてくれました。私たちの仕事も同じです。基礎を磨き、仲間と連携し、身近な現場から確かな仕事を積み重ねていく。今年度も明るく楽しく元気よく前を向いて走り切りたいと思います。(T.I)

JASMA 会報

Vol.23 No.1 2026年4月21日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者:内藤 智

〒105-0004
東京都港区新橋5-25-3 第2-1松ビル2階
Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192
URL <https://jasma.or.jp>
e-mail info@jasma.or.jp

本 JASMA 会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。